

望遠鏡観測部門報告 Report of Telescopic Meteor observations in April,2012 No.338

担当幹事 殿村泰弘 (Tonomura Yasuhiro) 宮城県富谷町 (Tomiya-machi Miyagi-pref,Japan)

2012年4月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月も、寺迫氏と中村氏の2名の方から報告がありました。

(表-1) 2012年 4月望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in April, 2012

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	S'n	Total	
寺迫 正典 Terasako Masanori	静岡県浜松市北区 Hamamatsu Shizuoka	4	240	-	15	15	25cm×35 2.4°L.T.
松本 幸久 Matsumoto Yukihisa	岐阜県揖斐川町 Ibigawa Gifu	2	100		6	6	15cm×25 2.7°L.T..
2012年 4月計		6	340	0	21	21	HR 3.7

★ 2012年4月の出現状況

● 出現数状況

2012年4月の出現数変化を(表-2)に示します。

UT																	
日	開始	JST	終了	JST	分	中央時	観測方向	Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	CI			観測者(Observer)
8	19	5	20	5	60	8.441	Gem,Ori,Eri,Lin,Aur,Tau	-	4	4	4.0	11.0	M		25cm L.T.*35		寺迫(Terasako M)
14	20	10	21	10	60	14.486	Ori,Mon,Pup,Pyx,LMa	-	1	1	1.0	12.0	M	0	15cm Bino.*25		松本(Matsumoto Y)
14	27	33	28	33	60	14.794	Aql,Cap,Del,Equ,Aqr,Peg,Psc,And	-	4	4	4.0	11.5	rG		25cm L.T.*35		寺迫(Terasako M)
23	27	13	28	13	60	23.780	Her,Lyr,Cyg,Vul,Sge,Aql,Del,Equ,Peg,Aqr,Cap	-	5	5	5.0	11.0	M		25cm L.T.*35		寺迫(Terasako M)
27	19	36	20	36	60	27.463	Ori,Mon,Tau,Aur,Ari,Per	-	2	2	2.0	11.5	rG		25cm L.T.*35		寺迫(Terasako M)
28	23	56	24	36	40	28.636	Leo,Pyx,Vir	-	5	5	7.5	11.0	rP	0	15cm Bino.*25		松本(Matsumoto Y)
6 Night									0	21	21	3.7					

(表-2) 2012年4月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in April,2012

● 光度分布

2012年4月望遠鏡流星の光度分布は、(表-3)に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.	
寺迫 (Terasako.M)													1	2	8	4				11.0 - 11.5	15	10.00
松本 (Matsumoto.Y)							0	0	0	0	1	3	1	1						12.0	6	8.33
Total	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	9	4	0	0		21	9.52	

(表-3) 2012年4月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in April, 2012

松本氏の観測では、28日の夜半にHR7.5という出現を観測されました。観測方向が黄道付近のようですから、黄道群の活動と思われます。残念ながら寺迫氏はこの日観測されていませんでした。

● 幹事から

時間を見つけて、部門報告をまとめる予定が、新潟市の朱鷺メッセで開催されたACM2012に参加のために来日したルーマニア天文協会のValentin氏らが、「金環日食を観測したい。」などというリクエストに応えるために、ホテルの予約や国立天文台への案内などで、すっかりと忘れていました。ようやく金環日食の観測準備と、迎える準備が終わったので慌てて原稿を仕上げました。

別原稿で、2011年と2010年の望遠鏡観測の各観測者ごとの光度分布をまとめました。引き続き2009年以前のまとめも行っていく予定です。